

東海道新幹線 徒歩による誘導訓練および新横浜駅折返し運転訓練の実施について

東海道新幹線では、自然災害などの異常事態発生に備え、社員の対応能力・技術レベルを向上させるため、各現場での日々の教育訓練に加え、「異常時を想定した実践訓練」を定期的を実施しています。

今年度は、地震により列車が停止し、係員による点検に相当な時間を要することが判明したという想定で、駅手前に停止している列車からお客様を車外へ降車させ、徒歩により最寄駅まで誘導する訓練を行います。

その後、東京～新横浜間の運行が不能となったことを想定し、新横浜駅での折返し運転訓練を実施します。

1. 実施日時 平成27年5月28日(木) 23時50分～26時30分まで(予定)

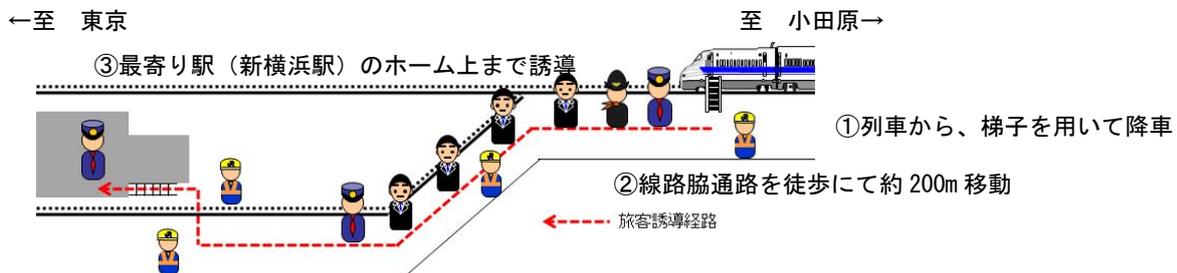
2. 実施場所 東海道新幹線 新横浜駅構内

3. 訓練内容

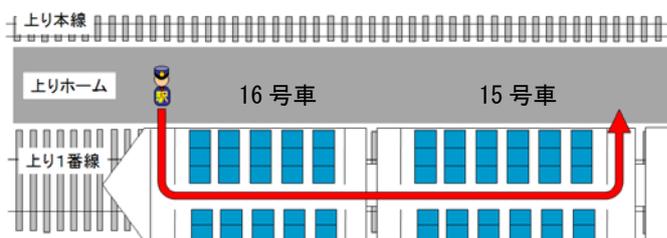
東海道新幹線の駅係員・乗務員のほか、沿線の施設・電気関係の現業機関社員など、約140名の社員が参加して訓練を実施します。

- (1) 列車から梯子を用いて線路上に降車し、最寄り駅まで誘導する訓練
- (2) 折返しすることとなった列車の車内点検や清掃、座席転換の手順を確認する訓練
- (3) 新横浜駅にて折返し運転を実施するための車両の入換え訓練

【(1) 列車から梯子を用いて線路上に降車し、最寄り駅まで誘導する訓練】



【(2) 折返し列車の車内点検および清掃・座席転換の手順確認訓練】



【(3) 折返し運転訓練】

